

2024年度第51回情報通信学会大会プログラム（個人研究発表・研究会報告・特別報告）

日時：2024年12月7日（土）

会場：オンライン開催（ZOOM Cloud Meetingsを利用）

※水色の欄は個人研究発表アーリーバードの部（学生発表）となります。

個人研究発表

	会場1 Aグループ	会場2 Bグループ	会場3 Cグループ	会場4 Dグループ
司会者	飯塚留美（マルチメディア振興センター）	三本松憲生（情報通信総合研究所）	田中絵麻（明治大学）	庄司昌彦（武蔵大学）
10:40～11:15	オンラインおよびオフラインにおける「居心地の良い場所」に求める条件	中国における欺瞞的マーケティングに対する消費者の態度と対応行動	/	教育ICT政策に関する経緯と考察
	藤井美里（立命館大学院生）、竇雪（立命館大学）	LIU ZHIBO（文教大学院生）、石井健一（文教大学）		大手英明（中央大学）
	菊地映輝（武蔵大学）	高口鉄平（静岡大学）		中川健朗（情報・システム研究機構）
11:20～11:55	オンラインゲームにおける「ギルド」の意義と変遷	2024年東京都知事選挙における報道の比較—非主流候補を巡る言説の分析—	ファースト&スロー：二重過程理論からみる政府規制、自主規制、共同規制—ICTリテラシー政策を補完する行動インサイトとブーストの可能性—	メディア環境変化と公共放送の便益—私的便益と租税的負担を巡って—
	呉昊天（駿河台大学院生）、八田真行（駿河台大学）	梶山佑（名古屋大学院生）、山本竜大（名古屋大学）	齋藤長行（仙台大学）	宍倉学（長崎大学）、春日教測（東洋大学）
	山根信二（東京国際工科大学）	脇浜紀子（京都産業大学）	生員直人（一橋大学）	庄司昌彦（武蔵大学）
11:55～13:00	※MTGルーム解放（大会参加者は自由に使用可）			総務省による特別報告（12:00～12:50）
				令和6年度版 情報通信白書の概要 講演者：鈴木 健太郎 （総務省 情報流通行政局 情報通信政策課 情報通信経済室長）
13:00～13:35	「踊ってみた」動画における「プロ化」傾向分析	北欧の報道助成制度の手法に関する考察	通信・放送インフラの議論におけるOTT（プラットフォーム）視点の必要性	視聴者エンゲージメントを通じたローカル放送支援の可能性
	小泉文（武蔵大学院生）	岡本洋太郎（駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ・ラボラトリ）	鍋島公章（Jストリーム）	三友仁志（早稲田大学）、大塚時雄（秀明大学）
	田代光輝（中央大学）	木村幹夫（日本民間放送連盟）	田中絵麻（明治大学）	春日教測（東洋大学）
13:40～14:15	アバター技術による故人復活に対する社会的受容態度の分析—日本科学未来館での市民参加型ワークショップから—	ニュースメディアの信頼向上の取り組み—欧州におけるAFPとyleを事例に—	海外のモバイル市場におけるインフラシェアリングの事例と政策動向	COARAの活動史とその評価—ICTを活用した地域イノベーションにおける先駆的事例の分析—
	相澤巧人（慶應義塾大学院生）、畠山記美江（慶應義塾大学）	藤代裕之、井上直樹（法政大学）	山條朋子（KDDI総合研究所）	尾野徹（NPO観光コアラ）、庄司昌彦、菊地映輝（武蔵大学）
	折田明子（関東学院大学）	渡辺健策（NHK放送文化研究所）	クロサカタツヤ（企）	永田晃也（九州大学）
14:30～16:30	研究会報告	/		
	放送制度研究会 テーマ：ドイツの放送制度 報告者：杉原周治准教授（愛知県立大学） テーマ：フランスの放送制度 報告者：波多江悟史准教授（愛知学院大学法学部）			